Panasonic

パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 CF-A2シリーズ

Let's note PRO

98 2000

本書以外のマニュアル

- H" INモジュールの使いかた
  (H" INモジュール内蔵モデルのみ)
- H" INサインアップマニュアル
  (H" INモジュール内蔵モデルのみ)
- 操作マニュアル
  画面で見るマニュアルです。本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。見かたについては16ページを参照してください。
  もくじ
  使用上のお願い/キーの組み合わせによる操作/状態表示ランプ/フラットパッドの操作/スタンバイ・休止状態機能/セキュリティ機能/省電力機能/バッテリーパック/画面切換ユーティリティ/メールボタン・インターネットボタン/PCカード/RAMモジュール/外部ディスプレイ/USB機器/モデム/携帯電話・PHS電話/LAN機能/セットアップユーティリティ/技術情報/DMIビューアー/エラーコードが表示されたら/困ったときのQ&A

上手に使って上手に節電

もくじ

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

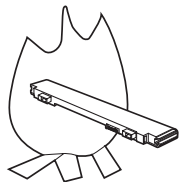
⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

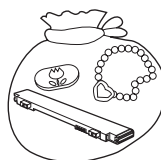
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

バッテリーパックに関する注意 ⚠危険

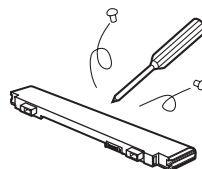
火中に投入したり加熱したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

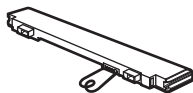
ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

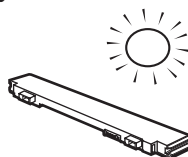
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

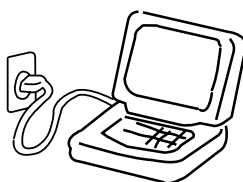
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

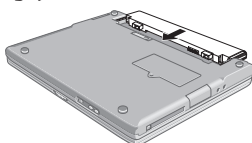
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-A2シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く

・本体が破損した ・本体内に異物が入った
・煙が出ている ・異臭がする
・異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない また、本書に記載のない方法で分解しない

分解禁止

⚠警告
高電圧に注意 本機を分解・改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない

禁止

水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

<H" INモジュール内蔵モデルのみ>

心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠警告

<H" INモジュール内蔵モデルのみ>

航空機内では電源を切る*1

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る*1（手術室、集中治療室、CCU*2等には持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

*2 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る*1

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

*1 コンピューター本体を使用したいときは、H"INモジュールスイッチをオフにしてください。

（☞『H"INモジュールの使いかた』）

⚠注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

電源コードはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※の原因になります。

※低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

使用上のお願い

本取扱説明書の表記上の規則

[スタート]-[プログラム]：画面上の「スタート」をクリックした後、「プログラム」をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
Enter：キーボードのEnterキーを押します。
Fn + F5：キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押します。
Windows 98：Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemについての説明です。
Windows 2000：Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版についての説明です。
☞ 操作マニュアル：操作マニュアルは画面で見るマニュアルです。16ページ記載の方法で起動し、参照してください。
オプション品については、最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

周辺機器等の誤った使用をすると本機の性能劣化、温度上昇、故障の原因になることがあります。各種拡張については操作マニュアルを参照してください。

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、下記および次ページのことに注意してください。

ハードディスクのデータ保護

- コンピューターに衝撃を与えない。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
- Windows[*1]やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（🛢）のランプが点灯中は、電源を切らない。
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]-[Windowsの終了]または[シャットダウン]を選び、操作を終了してください。
- ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障・不本意なデータ更新・消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。（☞操作マニュアル『セキュリティ機能』）

*1 正式名称 Windows 98：Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。本書では Windows または Windows 98 と表記します。
Windows 2000：Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版です。本書では Windows または Windows 2000 と表記します。

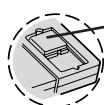
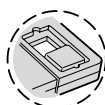
ハードディスク保護 *2

*2 CF-A2R4H2 モデルには、この機能はありません。

ハードディスク保護を有効に設定すると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータが読み書きできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じ設定にしておいてください。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。☞ 操作マニュアル『セキュリティ機能』）

使用上のお願い

フロッピーディスクのデータ保護

● フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯中に電源を切ったり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。
フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
● 一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合はその前に内容を確認する。
フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。
● 書き込み禁止タブ(ライトプロテクトタブ)を使う。
重要なデータを保存している場合におすすめします。書き込み禁止の状態にするとデータの削除や上書き保存を禁止することができます。

● フロッピーディスクの取り扱いには注意する。
データの破損やフロッピーディスクが本体から取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
・シャッターを手で開けない
・磁気を帯びたものを近づけない
・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
・ラベルを重ねて貼らない

コンピューターウィルス

最新のウィルスチェックプログラム(市販)を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
・コンピューターを起動するとき
・データを入手したとき
フロッピーディスクなどの外部メディアから、またネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ(圧縮されている場合は、圧縮復元後のファイル)を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

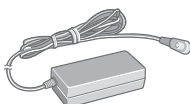
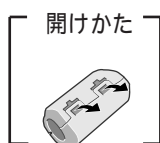
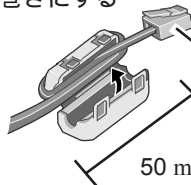
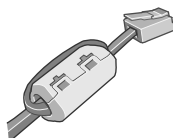
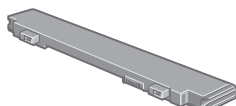
システムファイルチェッカー Windows 98

Internet Explorer 5.01がインストールされているコンピューターで、「システム情報」の「システムファイルチェッカー」を実行すると、以下の現象が起こることがマイクロソフト社より報告されています。
・正常なファイルに対しても「ファイルが壊れている可能性があります」というメッセージが表示される。
・その際、システムファイルチェッカーでファイルを修復するとシステムが不安定になる可能性がある。
本機には、工場出荷時に Internet Explorer 5.01 がインストールされていますので、システムファイルチェッカーはご使用にならないようお願いします。

お使いになる前に

はじめて使うとき

お買い上げになってからはじめて Windows の操作を始めるまでの操作手順を説明します。

1 付属品を確認する

本体以外に以下の部品を付属しています。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

お願い

トラブルが発生したときに使う再インストール用バックアップディスクを作成するには、USB接続のフロッピーディスクドライブ（CF-VFDU03）が必要です。11ページ手順9のバックアップディスク作成の際には、2HDフロッピーディスクを準備し、書き込み可能な状態にしておいてください。バックアップディスク作成に、1.2Mバイトフォーマットの2HDフロッピーディスクは使えません。

2 ソフトウェア使用許諾書(☞ 25ページ)に同意する

コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

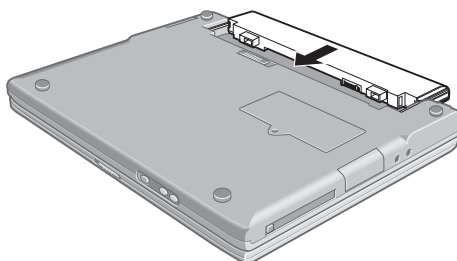
3 本体底面のラベルに記載されているプロダクトキー[Product Key]（数字とアルファベット）を本書の裏表紙に記入する

はじめて使うとき

4 バッテリーパックを取り付ける

本体を裏返し、バッテリーパックをみぞにあわせてスライドし、ゆっくりと差し込みます。

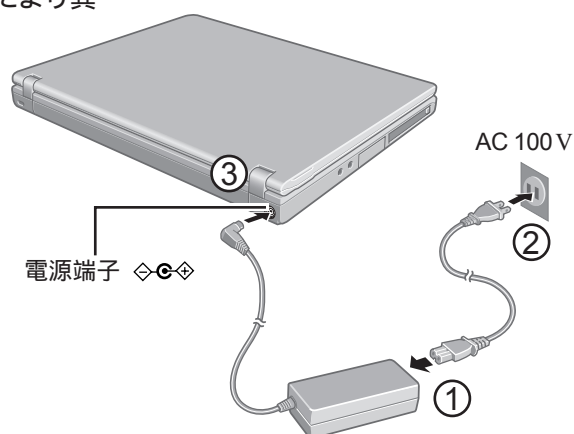
お願い

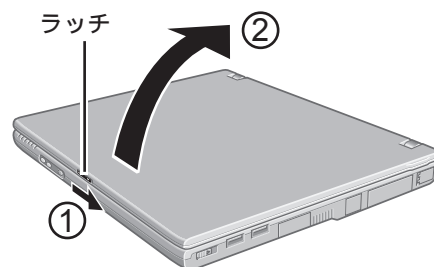
- コネクターに確実に取り付けてください。
- ご使用にあたってバッテリーパックについての安全上のご注意（☞ 2ページ）をよくお読みください。

5 ACアダプターを接続する

ACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。
充電にかかる時間は約3時間です。（コンピューターの動作状態により異なります。）

⚠注意

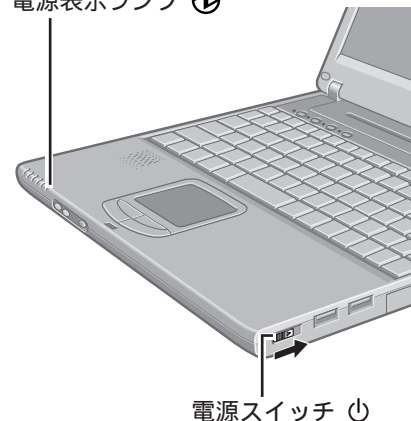
必ず指定の AC アダプターを使用する

指定以外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

6 ディスプレイを開ける

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

7 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間スライドしたままにし、電源表示ランプ（⏻）が点灯したことを確認してから手を離します。

お願い

- 電源スイッチを4秒以上スライドしたままにしないでください。4秒以上スライドし続けると電源が切れます。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- 本体にバッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

お知らせ

お買い上げ時、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れます。
この場合、フラットパッドやキーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であっても、ディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrlや Shift など）を押してください。
コンピューターを放置しておくと、自動的にスタンバイ状態*になります（☞ 操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）。電源スイッチをスライドするとリジュームします。
* Windows 2000：スタンバイ状態または休止状態

8 Windowsをセットアップする

カーソル(⇖)の移動やボタンなどの選択（クリック）には、フラットパッドを使います。（☞ 15ページ）

Windows 98

①「ようこそ」画面で ESC を押して次のステップへ進む。
　チュートリアルを使って文字の入力練習をしたいかたは M を押し、画面に従って操作してください。
②「Windows 98へようこそ」画面で名前とふりがなを入力して、[次へ]を選ぶ。
③「モデムを使って接続する」画面で「スキップ」を選ぶ。
④「ダイヤルのキャンセル」画面で「はい」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑤画面の使用許諾契約をよく読んで、「同意する」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しない」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

⑥[完了]を選ぶ。
⑦正しい日付と時刻を設定して[閉じる]を選ぶ。

Windows 2000

お願い

「Windows 2000セットアップ ウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、フラットパッドに触れたりしないでください。

①「Windows 2000セットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。

お願い

設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
以降の操作は、使うネットワークシステムにより異なります。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で[このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している]を選び、[次へ]を選ぶ。
⑨「Windows 2000 セットアップ ウィザードの完了」画面で、[完了]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑩「ネットワーク識別ウィザードの開始」画面で、[次へ]を選ぶ。
⑪「このコンピュータのユーザー」画面で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑫「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面で[完了]を選ぶ。
⑬手順⑤で設定したAdministratorのパスワードを入力して[OK]を選ぶ。

お知らせ

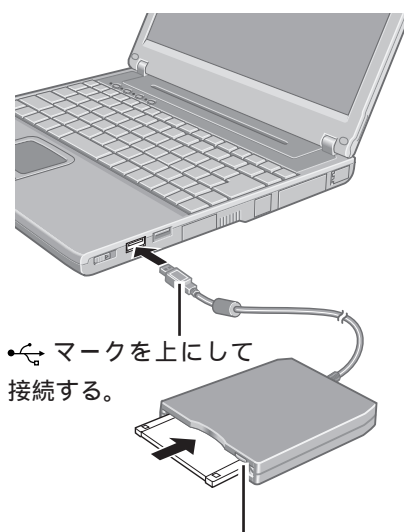
「Windows 2000 の紹介」画面について
- この画面を閉じる場合は、[終了]をクリックしてください。
- 「Windows 2000 について」を選ぶと、CD を挿入するメッセージが表示される場合があります。[キャンセル]を選んだ後、[c:\winnt\cdimage]と入力して[OK]を選んでください。
- 「スタートアップ時にこの画面を表示」のチェックマークを外すと、次回起動時からこの画面は表示されません。

9 バックアップ用のフロッピーディスクを作成する

フロッピーディスクドライブを取り付け、書き込み可能な状態にした2HDフロッピーディスク（枚数は画面に従ってください）を準備し、[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[バックアップディスク作成]を選びます。画面に従って操作してください。作成したディスクにはラベルを貼ってください。

作成するバックアップディスク
ファーストエイド FD
アップデート FD

バックアップディスク作成画面が表示されたら、画面に従ってディスクを作成してください。アップデートFDは、作成する必要がない場合もあります。

お使いになる前に

お願い

- 作成したバックアップディスクは、コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに、ハードディスクの内容をお買い上げ時に近い状態に戻すときに使います。大切に保管してください。
  ここで説明しているバックアップは本機を工場出荷状態に戻すためのものです。個人で作成したファイルについては、お客様ご自身で必要に応じてバックアップを取ってください。
- 再インストールを行った後では、バックアップディスクが正しく作成されないことがあります。
- バックアップディスクの作成中は、他のプログラムを動作させないでください。
- バックアップディスクの作成中に、「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- フロッピーディスクドライブのランプが点灯中にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったり、スタンバイ・休止状態機能を使って終了しないでください（☞ 13ページ）。

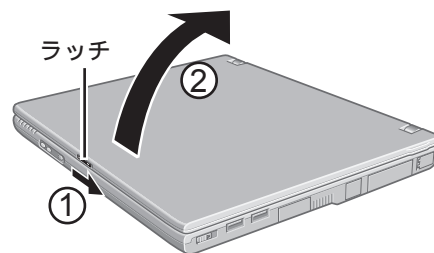
お知らせ

ファーストエイドFDで起動すると、再インストールに使用できるCDドライブが表示されますので、使用するCDドライブを選んでください。お持ちのCDドライブが一覧にない場合は「E.その他のCD-ROMドライブ」を選んでください。その後、使用するCDドライブやインターフェースカードに付属のフロッピーディスクから、「ファーストエイドFD」へ必要なドライバーをコピーし、「ファーストエイドFD」中のCONFIG.SYSファイルとAUTOEXEC.BATファイルの内容を書き換えてください。
ドライブによってはカードマネージャー（カードサービスとソケットサービス）が必要なものもあります。詳しくは、ドライブやインターフェースカードに付属の説明書をご覧ください。

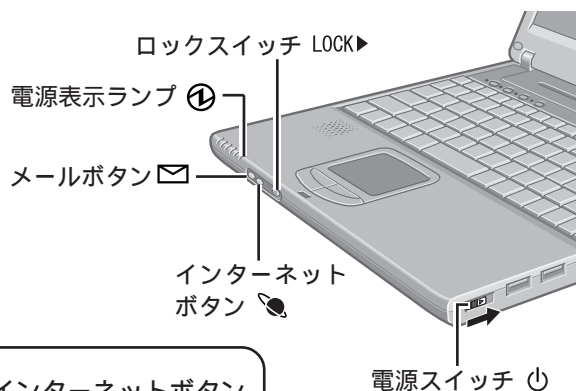
操作を始める／終わる

操作を始める

1 ディスプレイを開ける

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

2 電源を入れる

以下の2通りの方法があります。

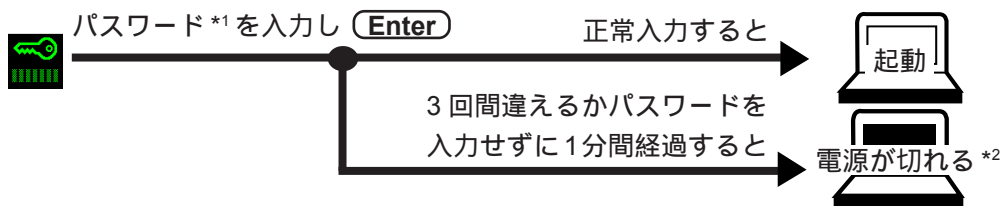
・電源スイッチを約1秒間スライドしたままにし、電源表示ランプ（⏻）が点灯したことを確認してから手を離します。
・ロックスイッチを左側にスライドして解除し、メールボタンまたはインターネットボタンを押します。Windows起動後、それぞれのボタンに登録されているアプリケーションソフトが起動します。（☞ 操作マニュアル『メールボタン・インターネットボタン』）

お知らせ

ロックスイッチを右側にスライドすると、メールボタン・インターネットボタンがロックされ、働かないようになります。

お願い

- 持ち運びの際などにメールボタンまたはインターネットボタンが押されるとWindowsが起動し、本体が故障する恐れがありますので、必ずロックスイッチを右側にスライドしてメールボタン、インターネットボタンをロックしておいてください。
- ポインターが砂時計（ ⌛ ）から通常のもの（ ↖ ）に戻り、HDDアクセスランプが消えるまで、以下のことはしないでください。
  ・ACアダプターを抜き差しする。
  ・電源スイッチ、メールボタン、インターネットボタンを操作する。
  ・キーボード、フラットパッド（外部マウス）に触れる。
  ・ディスプレイを閉じる。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- 電源を入れても本体が起動しない場合は、CPUの温度が上がっている場合があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの加熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

● 画面に（鍵アイコン）が表示されたら . . .

本機のセキュリティのため、パスワード（☞ 操作マニュアル『セキュリティ機能』）が設定されています。

*1 セットアップユーティリティで設定されているパスワードです。（Windows のパスワードではありません。）
*2 コンピューターを起動させる前がスタンバイや休止状態だった場合、その状態に戻ります。

● 操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら . . .

前回操作を終えたとき表示していた画面です。「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使って操作を終わると、電源を入れたとき、すぐに操作を再開することができます。（☞ 操作マニュアル『スタンバイ･休止状態機能』）

3 Windows 2000
パスワードを入力する

ハードディスク状態表示ランプ（⊜）が消えて10秒以上たってから、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選びます。正しいユーザー名とパスワードを入力するまで操作できません。

4
操作をする

各種アプリケーションソフト等を起動し、操作を始めてください。

お知らせ

- お買い上げ時、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れます。
  この場合、フラットパッドやキーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
  Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（ Ctrl や Shift など）を押してください。
  コンピューターを放置しておくと、自動的にスタンバイ状態*1になります（☞ 操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）。電源スイッチをスライドするとリジュームします。
- 工場出荷時の設定で、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]*2-[デバイスマネージャ]に「!」や「?」が表示される場合がありますが、異常ではありません。

*1 Windows 2000 ：スタンバイ状態または休止状態
*2 Windows 2000 ：[システム]-[ハードウェア]

操作を終わる

スタンバイまたは休止状態機能（☞操作マニュアル『スタンバイ･休止状態機能』）を使わず操作を終わります。

お知らせ

コンピューター本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1 Wの電力が消費されます。）

1
必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する

2
終了画面を表示する

Windows 98 [スタート]-[Windowsの終了]を選ぶ。
Windows 2000 [スタート]-[シャットダウン]を選ぶ。

お知らせ

キーボードを使って終了画面を表示するには
⊞ を押し、「Windowsの終了」または[シャットダウン]を選びます。

操作の方法

3 終了を確認し、電源を切る

Windows 98　[電源を切れる状態にする]を選んで[OK]を選ぶ。
自動的に電源が切れます。

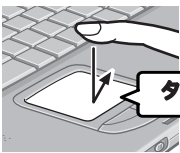
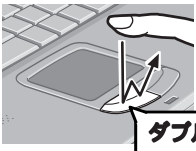
Windows 2000　[シャットダウン]を選んで[OK]を選ぶ。
自動的に電源が切れます。

●電源を切らずに、起動しなおしたい（再起動）

Windows 98　[再起動する]を選んで[OK]を選ぶ。

Windows 2000　[再起動]を選んで[OK]を選ぶ。

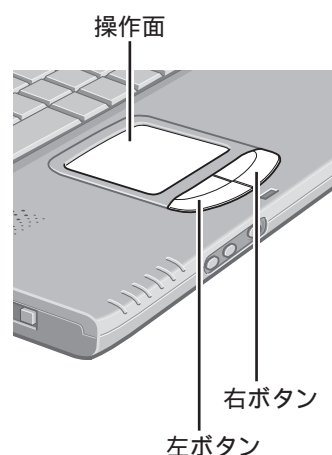
お知らせ

次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい
「スタンバイ」と「休止状態」と呼ばれる機能があります。（☞ 操作マニュアル 『スタンバイ・休止状態機能』）

4 ラッチの部分を持ってディスプレイを閉じる

フラットパッドを使う（基本操作）

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
詳細については、操作マニュアル『フラットパッドの操作』を参照してください。

お願い
フラットパッドは、指で操作するために設計されています。指以外で操作しないでください。

機能	フラットパッドの操作
カーソルを動かす	指先をフラットパッドの表面で動かします。
タップ／クリック	または
ダブルタップ／ダブルクリック	または
ドラッグ	1回タップしてからすばやく指先で操作面をこする。 または ボタンを押しながら、指を移動させる。

フラットパッドの取り扱い

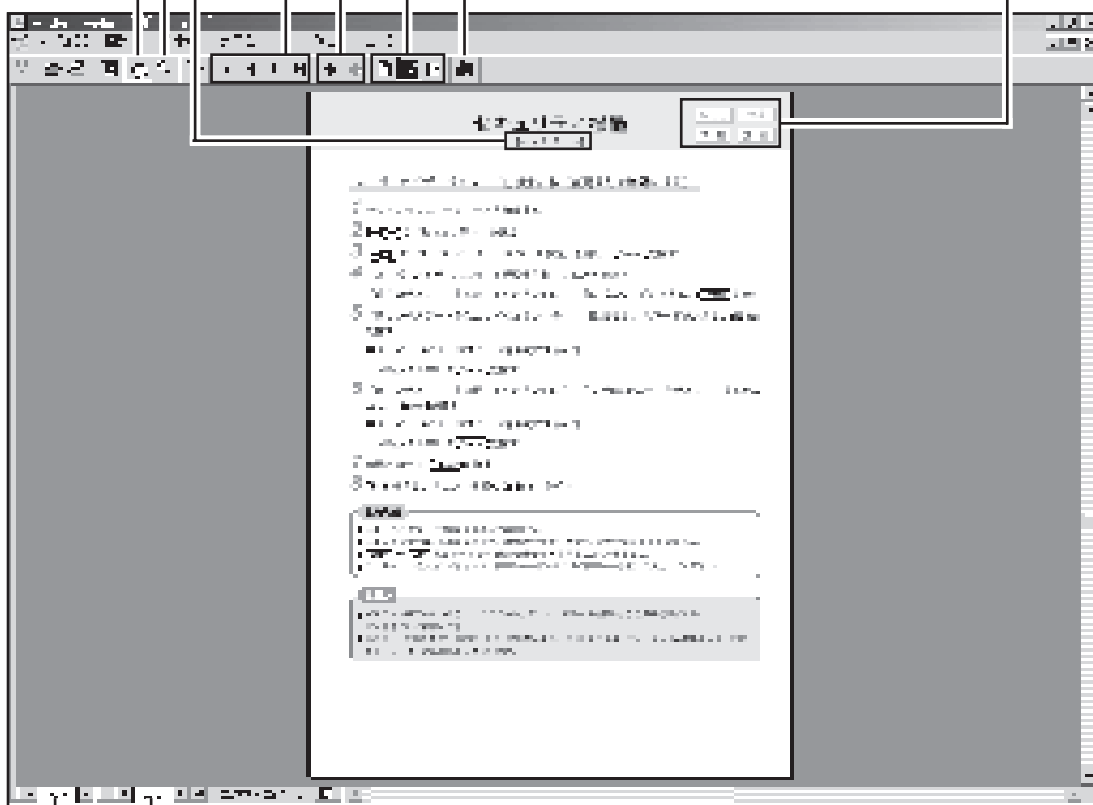
- フラットパッドは、セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「フラットパッド」が「有効」に設定されているときのみ動作します。（工場出荷時は「有効」に設定されています。）
- 操作面にものを置いたり、つめなどの先のとがったもの、固いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので押さえないでください。
- 油などでフラットパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動作しなくなります。
- フラットパッドに汚れが付着した場合：
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。ベンジンやシンナー、消毒用アルコールは使わないでください。
  中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

操作マニュアル

操作マニュアルは画面で見ることができます。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。
周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティなど、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。

操作マニュアルを起動する

1 電源を入れる

2 [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選ぶ
はじめて操作マニュアルを起動したときは、Acrobat® Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。

(画面は予告なく変更する場合があります。)

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターをお持ちの方は、ページ右上の 印刷 をクリックすると印刷設定画面が表示されますので、必要なページを指定して印刷することができます。ページは、画面左下の「ページの確認」部分で確認してください。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

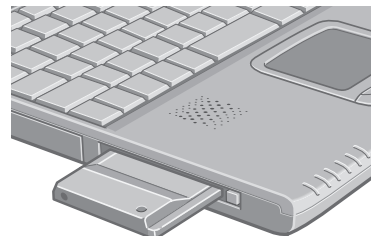
保管・持ち運び・お手入れ

使用・保管

●適した場所

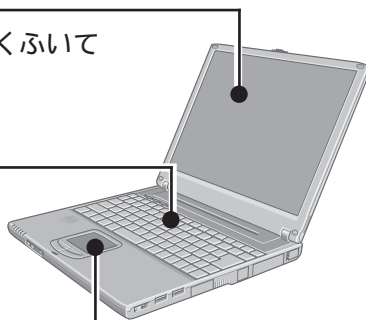
- 平らで落下のおそれがない場所
  コンピューターを縦に置いたりしないでください。
- 使用時の温度：5 ℃ 〜 35 ℃
  湿度：30 %RH 〜 80 %RH
  （結露なきこと）
  保管時の温度：-20 ℃ 〜 60 ℃
  湿度：30 %RH 〜 90 %RH
  （結露なきこと）

持ち運ぶとき

- 落としたり、机の角など固い物にぶつけないよう注意してください。
- 電源を切ってから持ち運んでください。
- 外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード（☞右図）をすべて取り外してください。
- バッテリーパックを用意しておくことをおすすめします。
- ディスプレイを開けたまま持ち運んだり、ディスプレイを持って持ち運ばないでください。
- 航空機で持ち運ぶときは、破損等を避けるためコンピューターやディスクなどは、手荷物としてお持ちください。また航空機内の使用は、航空会社の指示に従ってください。
- データのバックアップをとり、バックアップしたデータも必要に応じて一緒に持ち運ぶことをおすすめします。

操作の方法

お手入れ

ディスプレイ：
ガーゼなどの乾いたやわらかい布で軽くふいてください。

ディスプレイ以外の部分：
水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

フラットパッド
☞ 15ページ

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。
0251 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。－デフォルト値が設定されました。	CMOSデータがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 ● セットアップユーティリティでいったんデフォルト設定にした後、再度、適切な値に設定し直してください。 ● それでもエラーになる場合は、CMOSバックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。
0271 Check date and time settings	システムの日付と時刻が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時刻を正しく設定してください。
0280 起動を3回失敗しました。－デフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてからＯＳが起動するまでに、3回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。正しくOSを起動すれば表示されることはありません。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230 システムRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0231 シャドウRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0232 拡張RAMエラー。オフセットアドレス：nnnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。－バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOSバックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。－キャッシュは使用できません。	CPUの故障です。
02F5 DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

困ったときのQ&A

本機がうまく動かない場合にお読みください。『操作マニュアル』でも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

●電源を入れたとき

電源表示ランプが点灯しない	● ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
が表示された	パスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
システム起動エラーが表示された	☞ 18ページの「エラーコードが表示されたら」を参照してください。
Windows の起動および動作が極端に遅い	セットアップユーティリティを起動してください。 (☞操作マニュアル『セットアップユーティリティ』) F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻したあと、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。）
日付と時刻が正しく表示されない	● [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[日付と時刻]を使って訂正してください。 ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、が表示されない	セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはパスワード入力は要求されません。パスワード入力が必要となるように設定するには、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源の管理]*-[詳細]で「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。 * Windows 2000 ：「電源オプション」
Invalid system disk Replace the disk, and then press any key. と表示される	● システムを起動できないフロッピーディスクがドライブにセットされたままになっていることを意味します。この場合、フロッピーディスクドライブからディスクを抜いて、何かキーを押してください。 ● フロッピーディスクが入っていないのに上記のメッセージが表示される場合、ハードディスクをフォーマットしたか、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。この場合、ご相談窓口にご相談ください。
Windows 2000 スタートメニューの一部しか表示されない	● 簡易メニュー表示機能（よく使用するメニューを優先的に表示し、その他のメニューを隠す機能）が働いています。 をクリックすると、その下にあるメニューが表示されます。 ● 常にすべてのメニューが表示されるようにするには、[スタート]-[設定]-[タスクバーとスタートメニュー]をクリックし、「頻繁に利用するメニューを優先的に表示」のチェックマークを外してください。

困ったときのQ&A

● 電源を入れたとき

上記以外の問題が起こる	● セットアップユーティリティを起動し、F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外してみてください。 Windows 98 ● SCANDISKコマンドを実行してハードディスクをチェックしてください。 ● 起動時に Ctrl を押し、Safeモードで起動してみてください。 Windows 2000 ● [マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:）]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選び、[ツール]-[チェックする]を選ぶ。 ● 起動時、「Windowsを起動しています」が表示されているときに F8 を押し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。

● 終了時

Windowsが終了できない	● プロバイダーへの通信は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 ● プロバイダーについては、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LAN（☞操作マニュアル『LAN機能』）は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 ● LANの設定については、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。（ケーブルテレビを経由したインターネット接続の場合は、ケーブルテレビ接続サービス会社におたずねください。）

● バッテリー状態表示ランプ

赤色に点灯している 使用中にビープ音が鳴り始めた	バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにデータを保存し、終了してください。ACアダプターを接続するか、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	● すぐにデータを保存し終了した後、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。 ● それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電機能の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
オレンジ色に点滅している	バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、充電できません。いったんACアダプターを外し、温度が充電可能な範囲内になるのを待ってから接続してください。

● 画面表示

電源を入れたあと、画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイの画面に表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ・[コントロールパネル]-[画面]-[設定]-[詳細]-[Lynx3DM]-[CRT]が[オン]に設定されていますか？ ● Fn + F3で表示先を切り換えてください。 （Windows 98 デュアルディスプレイモードの場合を除く） ● 外部ディスプレイだけに表示してスタンバイまたは休止状態機能を使って操作を終わった場合、操作を再開したときに外部ディスプレイが接続されていないと、内部LCDには表示されません。この場合は、外部ディスプレイを接続するか、Fn + F3 を押してください。
画面が消えた	● 省電力機能によって、ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すと元に戻ります。その際、選択に使うキー（Enter、Space、Esc、Y、N や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイまたは休止状態に入ることがあります。その場合、電源スイッチをスライドすると元に戻ります。 ● 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。 Fn + F3 を押して表示先を切り換えてみてください。 （Windows 98 デュアルディスプレイモードの場合を除く）
残像が現れる	イメージが画面に焼き付き、残像となることがありますが、異常ではありません。別の画面が表示されると残像は消えます。
マウスカーソルが動かない	マウスを正しく接続し、キーボードで操作してコンピューターを再起動してください。 キーボードを使って再起動するときは、⊞ を押し、[Windowsの終了]または[シャットダウン]を選びます。
画面に緑、赤、青のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤・青・緑色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
外部ディスプレイに正しく表示されない	外部ディスプレイが省電力モードに対応していない場合、省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイが正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
画面が乱れる	解像度を変更すると画面が乱れることがあります。コンピューターを再起動してください。
外部ディスプレイと内部LCDの両方に表示しているとき、外部ディスプレイ側に正しく表示されない	Fn + F3 で表示先を切り換えてみてください。 （Windows 98 デュアルディスプレイモードの場合を除く）
スクリーンセーバーを設定していると、リジューム時にエラーが発生する	スクリーンセーバーが起動しているときにコンピューターが自動的にスタンバイ状態に入ると、エラーが起きることがあります。その場合はスクリーンセーバーを停止するか、スクリーンセーバーの種類を変更してください。

困ったときのQ&A

● 操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	Acrobat® Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で、「c:\util\reader\ar405jpn.exe」を起動し、画面に従ってインストールしてください。その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューから操作マニュアルを起動できません。

● アプリケーション

ハングアップした	● Ctrl + Alt + Del を押して応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 電源スイッチを4秒間スライドして、電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを再起動してください。それでも正常に動作しない場合は、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。
Windows 98 Windows Media™ Playerが起動しない	デュアルディスプレイモードのときに、外部ディスプレイ（[2]）上でMPEGファイルをダブルクリックしてMedia Playerを起動しようとすると、エラーが発生することがあります。Media PlayerでMPEGファイルを再生する場合には、内部LCD（[1]）上でMedia Playerを起動してください。

再インストールのしかた

再インストールの前に

●準備する

・プロダクトリカバリーCD-ROM
・[バックアップディスク作成]で作成したファーストエイドFD、アップデートFD*
（☞ 11ページ、手順9）
* アップデートFDを作成した場合。
・フロッピーディスクドライブ*
* USBコネクターにフロッピーディスクドライブ（品番：CF-VFDU03）を接続してください。
・PCカード接続CDドライブ*1（市販）またはUSB接続CDドライブ*2（市販）

*1 PCカード接続CDドライブ（推奨）：パナソニック製KXL-830AN、KXL-RW30AN、KXL-CB10AN、LK-RV624DZ
*2 USB接続CDドライブ（推奨）：パナソニック製KXL-840AN、KXL-RW20AN、KXL-RW21AN

●以下の点を確認する

・必要なデータはバックアップをとっておいてください。
・不要な周辺機器は、すべて取り外してください。
・必ず、ACアダプターを装着してください。
・PCカード接続CDドライブの場合、CDドライブに付属のPCカードを使用してください。
（PCカードにCardBus / 16bitの切り換えスイッチがあるものは16bit側で再インストールしてください。）

再インストールする

お願い

● 再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
● ハードディスクを圧縮して使用している場合は、解除してください。
● 再インストール中に「CDR101:Not ready 読み取りドライブ L:」と表示された場合は、 R を押して続行してください。

1 <USB接続CDドライブの場合>
CDドライブを接続して「リカバリーCD-ROM1」をセットする。
<PCカード接続CDドライブの場合>
CDドライブとフロッピーディスクドライブを接続して、「リカバリーCD-ROM1」と「ファーストエイドFD」をセットする。

2 コンピューターの電源を入れ、「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているときに、 F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

お知らせ

CDドライブによっては、コンピューターの電源を入れる前にCDドライブの電源を入れると、CDドライブが認識されないことがあります。この場合、コンピューターの電源をいったん切って入れ直してください。

3 セットアップユーティリティの現在の設定内容を紙などにメモしておいてから、 F9 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。

4 <USB接続CDドライブの場合のみ>
「起動」メニューで「USB CDドライブ」が1番目になるように F5 F6 を押して、設定する。

5 F10 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。

6 再インストールを実行するための条件が表示されたら、 同意する場合は 1 を押し、同意しない場合は 2 を押す。
1 を押すとメニューが表示されます。
2 を押すと再インストールが終了します。

7 メニューから、どの操作を実行するかを選ぶ。
・ハードディスクの内容をパーティション設定も含めて、すべて工場出荷の状態にするには：
[1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。]を選ぶ。

Windows 98

・パーティション設定を行わず、ハードディスク(Cドライブ)を工場出荷の状態にするには：
[2.Cドライブをフォーマットして、工場出荷状態に戻す]または
[3.Cドライブをクイックフォーマットして、工場出荷状態に戻す]を選ぶ。

再インストールのしかた

Windows 2000

- 最初のパーティション(通常はCドライブ)を工場出荷の状態にするには：
  [2.最初のパーティションにWindows 2000を再インストールする]を選ぶ。

  この場合､最初のパーティションのサイズは約4Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

8 確認のメッセージが表示されたら Y を押す。
再インストールが始まります。
途中で、プロダクトリカバリーCD-ROMを入れ替えるようメッセージが表示された場合は、「プロダクトリカバリーCD-ROM1」を取り出し、「プロダクトリカバリーCD-ROM2」をセットしてください。

9 「再インストールを完了しました。」というメッセージが表示されたら、Enter を押す。
コンピューターの電源が切れます。

10 CDドライブとフロッピーディスクドライブなどを取り外し、電源を入れ、「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているときに、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

11 F9 を押す。
確認メッセージが表示されたら、再度 Enter を押す。

12 F10 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

13 Windowsのセットアップを行う。（☞9, 10ページ）
＜「アップデートFD」がある場合＞
アップデートFD内のREADME.TXTを参照して操作してください。

お知らせ

使用するCDドライブを変更する場合などには、下記に従って操作してください。

1 「ファーストエイドFD」をセットして、コンピューターの電源を入れる。
（CDドライブは取り外しておいてください。）
2 「CD-ROMドライブが見つかりません...」と表示されたら「A:\>」プロンプトに続けて「\tools\seldrv」と入力して Enter を押す。
3 画面の指示に従って、使用するCDドライブを選ぶ。
4 [A:\>]が表示されたら、[\tools\shutdown]と入力して、Enter を押し Y を押す。コンピューターの電源が切れます。
5 CDドライブを接続する。
6 コンピューターの電源を入れ、「再インストールを開始しますか」というメッセージが表示されたら、N を押す。
7 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をセットし、MS-DOSのプロンプトに続けて「dir L:」と入力して Enter を押し、Lドライブを認識できるか確認する。
8 認識できることを確認したら、「A:\>」プロンプトに続けて「\tools\shutdown」と入力して Enter を押し Y を押す。コンピューターの電源が切れます。

ソフトウェア使用許諾書

第1条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属CD-ROMおよびマニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第4条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、本コンピューター1台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第5条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

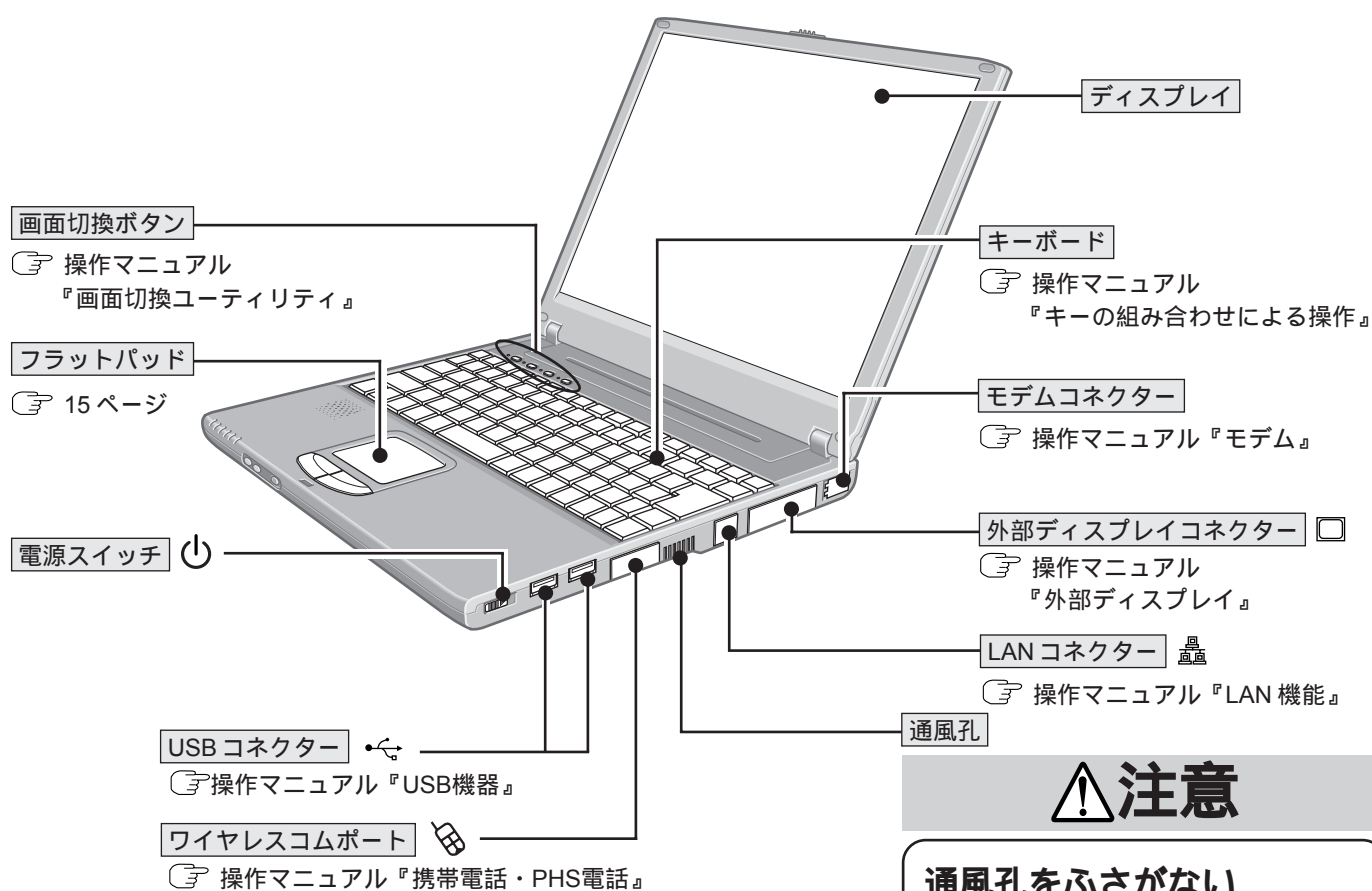
第6条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第7条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

各部の名称と働き

⚠注意

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

お知らせ

電源オフでロックスイッチがロック状態の場合、メールボタンを押すと状態表示ランプが点灯します。点灯しているランプの個数でバッテリー残量を確認することができます。

操作マニュアル『バッテリーパック』

仕様 日本国内専用

● 本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

機種名			CF-A2R4H8S CF-A2R4T8S*1 CF-A2R4H2S CF-A2R4T2S*1	CF-A2R4C8S CF-A2R4C2S	CF-A2V4H8S CF-A2V4T8S*1 CF-A2V4H2S CF-A2V4T2S*1	CF-A2V4C8S CF-A2V4C2S
CPU			Intel® SpeedStep™ テクノロジ対応 モバイル Pentium® IIIプロセッサ 600 MHz		モバイル Intel® Celeron™ プロセッサ 500 MHz	
メモリー	キャッシュ	L1	32 Kバイト			
		L2	256 Kバイト		128 Kバイト	
搭載メモリー（拡張可能メモリー）			64 Mバイト（最大192 Mバイト）			
ビデオメモリー			4 Mバイト			
LCD	タイプ		11.3型			
	解像度（表示色数）		1024 × 768ドット（256色/65536色/1600*2万色）			
外部ディスプレイ			1280×1024/1024×768/800×600/640×480ドット (4種のうちいずれの解像度でも256色/65536色/1600万色)			
ハードディスク			約20 G*3バイト		約10 G*3バイト	
キーボード			OADG準拠、Windowsキーボード（86キー）			
スロット	PCカードスロット		Type I(Type II)×1スロット内蔵			
			許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA			
	増設RAMスロット		1スロット(144ピン、3.3 V対応、SDRAM) 100 MHz*4			
インターフェース	外部ディスプレイコネクター		アナログRGBミニDsub 15ピン			
	マイク入力端子		モノラルミニジャック（コンデンサーマイクを使用のこと）			
	オーディオ出力端子		ステレオミニジャック			
	USBコネクター		4ピン×2			
	モデム端子		本体内蔵（RJ-11）DATA：56 kbps（V.90 & K56flex）FAX：14.4 kbps			
	LAN端子		本体内蔵（RJ-45）100BASE-TX/10BASE-T			
	ワイヤレスコムポート		18ピン（携帯電話/PHS電話接続用）			
	拡張コネクター		50ピン（外部ハードディスク接続用）			
	H" INモジュール		内蔵		内蔵	
ポインティングデバイス			フラットパッド			
スピーカー			モノラルスピーカー（内蔵）			
サウンド機能			PCM音源（16ビットステレオ）			
消費電力*5			最大 40 W、（社）電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力値：24 W			
外形寸法（幅×高さ×奥行）			255 mm×24.7(前部)/31.5(後部) mm×220.5 mm(突起部を除く)			
質量			約1.39 kg			
使用環境条件			温度：5 °C〜35 °C 湿度：30 %RH〜80 %RH（結露なきこと）			

*1 Two LINK DATA対応モデル。
*2 ディザリング機能を使用して約1600万色表示を実現しています。
*3 1 Kバイト=10^3 バイト、1Mバイト=10^6 バイト、1 Gバイト=10^9 バイトで端数を省略しています。
*4 RAMモジュールを増設される際、100 MHz対応であることをご確認ください。
*5 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.0 W。

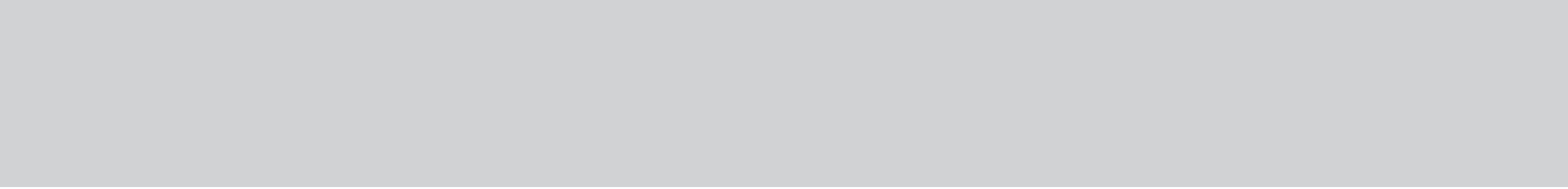
● 付属品仕様

ACアダプター	入力	AC 100 V 〜 240 V*1、50 Hz/60 Hz
	出力	DC 15.1 V、2.6 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	仕様	11.1 V(Li-ion)、4.0 Ah
	稼働時間	約 5.0〜6.0 時間*2

*1 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。(☞ 3ページ)
*2 LCDバックライト輝度最低時。また、使用条件により異なります。

● 導入済みソフトウェア

	CF-A2R4H8S/CF-A2R4T8S/CF-A2R4C8S CF-A2V4H8S/CF-A2V4T8S/CF-A2V4C8S	CF-A2R4H2S/CF-A2R4T2S/CF-A2R4C2S CF-A2V4H2S/CF-A2V4T2S/CF-A2V4C2S
OS	Microsoft® Windows® 98 Second Edition (FAT32ファイルシステム)、MediaPlayer 7.0、Microsoft® Internet Explorer 5.01	Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版 Service Pack1(NTFSファイルシステム)、MediaPlayer 7.0、Microsoft® Internet Explorer 5.5
ユーティリティプログラム	DMIビューアー USERボタンモニター 画面切換ユーティリティ 電波状況モニター Intel SpeedStep technology*1 H" INサインアップ*2 H" INユーティリティ*2 Adobe® Acrobat® Reader 4.05J	

*1 CF-A2Rシリーズのみ。
*2 H" INモジュール内蔵モデルのみ。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
転居や贈答品などでお困りの場合は…
・「パナソニックパソコン お客様ご相談センター」にご相談ください。

■保証書（別添付）
必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
[消耗品（バッテリーパック）を除く]

■補修用性能部品の保有期間
当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき
『困ったときのQ&A』にしたがってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
技術料は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料費です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■海外での使用について
本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

ご相談窓口のご案内

パーソナルコンピューターのパナソニックブランド製品についての技術的なご質問･お取り扱い方法等ご不明な点がありましたら、品番をご確認のうえ、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理に関するご相談

サポートデスク

ナビダイヤル（全国共通番号） 05 0 008 56（パナコム）

受付時間　月～金（祝祭日を除く）
9時～17時30分

・お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話 フリーダイヤル 0120 8 3029（パナソニック）

ＦＡＸ　0 26 2　1

365日／受付9時～20時

（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

・本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
・本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は､家庭環境で使用することを目的としていますが､この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
・漏洩電流について､この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

Panasonic

パーソナルコンピューター CF-A2シリーズ 取扱説明書

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	品 番 *1	
	販売店名	☎(　　)　－	お近くの当社 ご相談センター ☎(　　)　－	
	Windows システムのプロダクトキー *2			

*1 保証書に記載されている品番(例:CF-A2R4H8S)を記入してください。

*2 本体底面のラベルに記載されている Product Key を記入してください。

松下電器産業株式会社 パーソナルコンピュータ事業部

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

FJ0501-2081
DFQM5455ZB